



個人懇談について

来週から個人懇談が始まります。ひと家庭あたり15分と限られた時間ではありますが、これまでのお子さんの幼稚園生活を通して見えてきた「育ち」を、ご家庭と共有する大切な機会を考えております。



幼稚園生活の中で、お子さんがどのような姿を見ているのか、どんなことに興味や意欲を持って取り組んでいるか、また友達との関わりの中でどんな成長が見られるのかを、お伝えします。

同時に、ご家庭でのお子さんの様子や、成長を感じること、頑張っていること、気になることなどもお聞かせ下さい。家庭と幼稚園が同じ方向を向きながら成長を見守ることで、お子さんにとってより良い環境を整えることができます。

懇談では、今後の園生活に向けての課題やさらに成長を促すための支援についても一緒に考えていきたいと思います。短い時間ではありますが、日々の育ちを確かめ合い、次のステップへ繋げる温かな時間となりますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、個人懇談日に預かり保育を利用できるのは「2号認定」と「新2号認定」のお子さんのみです。それ以外のお子さんをお預かりする人員とスペースの確保ができませんのでご了承下さい。家庭内保育へのご協力をお願いします。



HAPPY HALLOWEEN

10月30日(木)は、子ども達が楽しみにしている「HALLOWEEN PARTY」を行います。この日は、子ども達が自由に仮装して登園してOKです。アニメやゲームのキャラクター、ディズニープリンセスにマーベルのヒーロー、警察官や看護師などの憧れの職業、もちろんパンプキンオバケも大歓迎◎ 子ども達がそれぞれ好きなスタイルで登園し、幼稚園全体でHALLOWEENの雰囲気を楽しみます🎃



仮装はあくまでも“お楽しみ”の一つです。強制ではありません。カチューシャや帽子を着けるだけでも、スティックなどの小さなグッズを持ってくるだけでもOKです🍬

ご家庭での負担にならない範囲でご参加下さい。

当日は、教師達もそれぞれに変身して参加します いつもと違う姿に、子ども達の驚きの声やワクワクドキドキの笑顔があふれることでしょう🎃

子ども達が楽しめる一日にしたいと思います。楽しみにされて下さい🍬

「失敗できる場所」が子どもを強くする！ Part1

～不登校が増える時代に考えたいこと～

近年、「不登校の子どもが増えている」というニュースをよく耳にします。特にコロナ禍以降、その数は全国的に増加傾向にあります。2023年初めて30万人を超え、34万6千人になりました。確かに、感染症や行動制限によって学校生活が一変した影響は大きいでしょう。しかし、その背景をもう少し深く見つめてみると、どうやら「コロナだけが原因」ではないようです。

＝少子化と過干渉のはざま＝

今の子どもたちは、まさに“多くの大人の眼差し”に囲まれて育っています。昔前なら、近所にもたくさんの子がいて、多少けんかしても、泣いても笑っても、それを温かく見守る地域の目がありました。ところが少子化が進み、一人の子に注がれる大人の視線は、かつてよりずっと濃く、近くなりました。「危ないから」「失敗しないように」「かわいそうだから」… 子どもを思う気持ちから出た言葉ではありますが、その分、子どもが自分の世界で自由に息をする余地は少なくなっているのかもしれない。

大人が気づかぬうちに、子どもは「常に見られている」ことに敏感になります。誰かの目、誰かの評価、誰かの反応…そして、SNSやインターネットの世界では、ほんの小さなミスも、たくさんの人に見られ、叩かれる場面を日常的に目にします。そうした社会の空気が、子どもたちの心に「失敗したら終わり」「人前で恥をかきたくない」という無言の圧力をかけているのかもしれない。

その結果、「無難に過ごそう」「なるべく目立たないようにしよう」と、息を潜めて生きる子が増えているように感じます。他人の視線を気にしすぎて、ほんの少しの言葉にも傷ついたり、笑い声を自分の悪口だと感じたり…心理的な“バリア”が薄くなり、「自分は自分」と思えなくなる子が多くなっているのです。

＝自信を持ちにくい時代＝

子どもが心の中にしっかりとした“自分の土台”を作るには「自信」が必要です。でも、今は、その「自信」を育みにくい社会になっていますね。「失敗が許されない」空気の中では、挑戦すること自体が怖くなります。挑戦しなければ成功も失敗も経験できず、結果として「自信」が育つ機会が失われてしまうのです。これは子どもに限った話ではありません。親もまた、「こうすべき」「こうあらねば」と、真面目に頑張るほど自分を縛ってしまうことがありますね。

親が真面目であればあるほど、我が子に「正しさ」を求めてしまいがちです。「○○しなければ」「○○であるべき」という言葉が多くなると、子どもは次第に息苦しさを感じ、失敗することを極端に恐れるようになってしまいますよ！ 実際、不登校になる子どもに共通する特徴として「とても真面目で頑張り屋」という傾向があると云われます。決して怠けているわけではなく「ちゃんとしなければ」と思う気持ちが強すぎるあまり、心が先に疲れてしまうのです。そこに「他人の失敗を許せない」という社会の風潮が重なり、教室でも、家でも、安心して“失敗できる場所”が減ってしまった…これが、今の子どもたちが抱える大きな負担のひとつかもしれません。

次号につづく →

前号でもお知らせしておりますが、個人懇談が行われる5日間は午前保育になります。

スクールバスの降園時の運行時間が2時間30分早くなります。お間違えのないよう

ご注意ください。なお、徒歩通園の降園時間は12:00です。